



小平邦彦さん

名誉区民

新宿区名誉区民で世界的な数学者として知られる故小平邦彦さん(1915年～1997年)は1954年、数学者にとって最高の荣誉であるフィールズ賞を受賞しました。今年、小平さんの生誕100年にあたります。

故小平邦彦さん生誕100年記念

講演会・パネル展示

●講演会「小平邦彦先生の数学」
【日時】3月20日(金)午後4時～5時
【講師】上野健爾(京都大学名誉教授)
※講演会後、パネルディスプレイもあります。
●パネル展示「小平邦彦先生の生涯」
【日時】3月20日(金)午後1時～5時、21日(土)22日(日)23日(月)午前10時～午後5時、24日(火)午前10時～12時
(以下共通)
【会場】明治大学駿河台キャンパス
【主催・問合せ】日本数学会 ☎(3835)34833 へ。同会ホームページ http://mathsoc.jp/ でもご案内しています。

男女共同参画情報誌

ウィズ新宿 編集委員を募集

編集講座で基礎を学び、プロの編集者のアドバイスを受けながら、区と協働で情報誌を作成します。
【対象】区内在住・在勤・在学の18歳以上で、編集講座・編集会議に毎回出席できる方、7名程度(経験は問いません)。託児があります(1歳6か月以上)。
【任期】4月28日(火)～28年3月31日(木)
【内容】男女共同参画の基本的な知識と視点、情報誌の役割や企画の立て方、取材方法、読みやすい文章の書き方等を学んだ後、編集に参加(講師は二宮明子(株草文社))
●編集講座：5月9日(土)午前10時～12時、16日(土)午前10時～午後3時、23日(土)午前10時～12時、全3回
●編集会議：12月12日、6月6日、20日、7月4日、18日、8月8日、9月5日、12月12日、10月17日、11月14日。

ウィズ新宿119号(26年10月発行)



28日、12月12日、28年1月9日、16日の土曜日午前9時30分～12時、各号6回(日程は変更する場合があります)です。取材にかかる交通費等は各自負担
【会場・申込み】所定の申込書を、4月11日(土)消印有効までに男女共同参画推進センター(ウィズ新宿、〒160-0007 荒木町16) ☎(3341)0801 FAX(3341)0740 へ郵送・ファックスまたはお持ちください。
選考の上、結果を4月27日(月)までにお知らせします。
申込書は同センター・特別出張所・地域センター・区立図書館等で配布。新宿区ホームページからも取り出せます。

地域の歴史や文化を未来につなげよう
新たな文化財10件が決定

新宿区文化財保護条例に基づき、区内の文化財の保護と活用を推進しています。新たに決定した指定文化財3件、登録文化財7件を紹介します。
【問合せ】文化観光課文化資源係(本庁舎1階) ☎(5273)3563 FAX(3209)1500 へ。

指定文化財 (3件)

区内の文化財のうち特に重要なものを、指定文化財として保護・活用しています。今回の指定で、区の指定文化財は115件となります。

有形文化財(建造物)

- 亮朝院 本堂
●亮朝院 七面堂 西早稲田3-16-24

本堂は嘉永3年(1850年)、七面堂は天保5年(1834年)の建築で、区内では数少ない江戸時代の建物です。亮朝院は江戸初期に身延山久遠寺から七面明神像を授かり、戸山に七面堂を建立して祀ったのが起源と伝えられています。



有形民俗文化財

中井御霊神社の狛犬

中井2-29-16
神社の拝殿前にある一対の狛犬で、現存する区内最古の狛犬です。正徳5年(1715年)に下落合村の氏子により奉納されました。



登録文化財 (7件)

区内の文化財のうち保存する必要があるものを、登録文化財として保護・活用しています。今回の登録で、区の登録文化財は48件となります。

有形文化財(工芸品)

●西應寺の梵鐘 須賀町11-4

正徳2年(1712年)に鑄造された銅造の梵鐘(釣鐘)で、江戸前期の鑄物師・小沼長政の作品です。銘文からは、この鐘が造られた経緯や670名に及ぶ寄進者の名前が分かります。



有形民俗文化財

●全龍寺の庚申塔

大久保1-16-15

寺の門前に立つ庚申塔で、寛文12年(1672年)の建立です。阿弥陀如来像の向かって右側には庚申の文字が、台座には庚申塔のシンボルである三猿が刻まれています。



庚申(こうしん)塔…江戸時代に流行った、60日に1度の庚申(かのえさる)の日に徹夜して、長寿を祈願する民間信仰に基づくもの。この祈願を3年続けた記念に建立される石碑

有形文化財(歴史資料)

- 木造 七面明神半跏像・宮殿
●木造 妙見菩薩立像・宮殿
●木造 諏訪大明神坐像・宮殿

西早稲田3-16-24、亮朝院内

亮朝院七面堂の本尊である七面明神像(江戸前期～中期)と、後に七面堂に安置された妙見菩薩像(嘉永5年(1852年)ごろ)、諏訪大明神像(文政11年(1828年)ごろ)の3体の彫刻で、それぞれ宮殿(くうでん)に収められています。像は美しい彩色が残り、宮殿は建造物として優れたものです。江戸時代の人々の信仰の様子が分かる文化財です(通常は非公開)。

有形民俗文化財

●慈雲山観音寺の庚申塔

西早稲田1-7-1

寺の境内に立つ庚申塔で、寛文4年(1664年)の建立です。地藏菩薩像の向かって右側に、庚申の文字が刻まれています。



有形民俗文化財

●下落合2丁目の庚申塔

下落合2-8-2

氷川神社前の路傍に立つ庚申塔で、文化13年(1816年)の建立です。側面に「左ぞうしがや道」「右ば下道」と刻まれており、道しるべでもあったことが分かります。

